

劇場におけるコモンスペースに関する研究  
鑑賞者の滞在行動に着目して

正会員 ○小塚 智世\*  
同 加藤 彰一\*\*

劇場 コモンスペース 環境行動  
ホワイエ マッピング アフォーダンス

Abstract

This study focuses on new features of lobby areas or common spaces at theaters through the analysis of audience behaviors during intermission periods and after-hours of the performance.

1. 背景

近年、多目的ホールから専用ホールまで様々な劇場が計画され、それに伴い公演前後や幕間の過ごし方も多様になっている。鑑賞者が劇場に足を運ぶ際、「ハレ」の感覚や多様な過ごし方に対応する劇場環境及び劇場周辺環境が求められている。特にホワイエやロビーなど劇場のコモンスペースは、公演時の心地よい滞在空間や公演時以外の文化活動の場として有効利用されるべきであり、利用者の求める劇場環境を把握し、劇場の計画段階や管理運営上留意すべき空間であると考えられる。

2. 目的

本研究では、公演時におけるホワイエを主とする劇場のコモンスペースで見られる鑑賞者の滞在行動に着目する。コモンスペースの利用行為からそれらの行為に影響を与えている要因を示し、鑑賞者の求める劇場環境をデザインするための方向性を示すことを目的とする。

3. 調査対象および方法

調査対象は、2000 席程度の客席数をもつ劇場である、東海地方の愛知芸術文化センター、三重県総合文化センター及び、関西地方の京都会館、尼崎市総合文化センター、兵庫県立芸術文化センターとする。

調査方法は、表 1 に示した各公演時に場面抽出調査を行い、行為内容、人数、年齢層、行為に関係している物的要素を記録する。「くるみ割り人形」の公演時では、2分おきの定点観察調査をホワイエで行い、場面抽出調査から得られた行為内容がどれほど見られるのか把握する。

表 1 観察調査演目

公演日	上演時間	劇場・演目
2008.11.13.	18:30 21:55	愛知芸術文化センター 大ホール ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇団オペラ「フィガロの結婚」
2008.11.17.	18:15 20:05	尼崎市総合文化センター アルカイックホール 園田学園中学校吹奏楽部 第28回定期演奏会
2008.11.30.	14:00 16:10	京都会館 第2ホール 第20回京都留學生音楽祭
2008.12.13.	15:00 17:10	兵庫県立芸術文化センター 大ホール PACクリスマスコンサート
2008.12.18.	19:00 21:10	兵庫県立芸術文化センター 小ホール 関西歌劇団 歌の花束 クリスマスコンサート
2008.12.21.	16:00 18:10	尼崎市総合文化センター アルカイックホール 法村友井バレエ団「くるみ割り人形」
2009.01.10.	18:00 21:20	愛知芸術文化センター コンサートホール 名古屋二期会ニューイヤーパーラコンサート
2009.01.11.	14:30 17:10	三重県総合文化センター 大ホール ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

4. 調査結果

場面抽出調査から得られた、各劇場のコモンスペースにおいて共通する鑑賞者の行為内容を表 2 に示す。

表 2 行為の種類

行為	行為内容
会話	2人以上で話をする行為。
あいさつ	お互いを認識した際に行う言葉や身振りによる行為。会話以前の行為。
携帯電話使用	携帯電話を用いて通話、メールの確認や作成、付属しているカメラ機能を使用する行為。
飲食	食べ物や飲み物を摂取する行為。
パンフレット確認	鑑賞者全員に配られたパンフレットやパンフレットには含まれたチラシに目を通す行為。
パンフレット採集	ホワイエに配置されているパンフレットコーナーに立ち寄り、劇場や周辺施設の催し物などの情報を得る行為。
アンケート記入	劇場側や主催者側が配布したアンケートに回答する行為。
写真撮影	カメラで人やものを撮影する行為。
待機	ある時間まで所定の場所に滞在する行為。
喫煙	たばこを吸う行為。

定点観察調査から得られた、尼崎市総合文化センターのコモンスペースにおける利用実態、鑑賞者の行動特性を以下にまとめる。行為割合に関して、幕間は会話や飲食行為が多く見られた。公演後はホワイエ滞在者の中に、会話やパンフレット確認、自動販売機を利用したの飲食など、比較的時間に余裕をもった行為が見られた。また、劇場スタッフによるプレゼント配布が鑑賞者同士の会話行為につながり、ホワイエ滞在時間に影響を及ぼしていた。図 1 より、公演後に移動者と滞在者がいる場合ホワイエ内で住み分けがされること、輪になっての会話行為は群れとなることなどが分かる。この劇場では喫茶スペース以外のコーナーにもハイテーブルが配置されており、1グループ1ハイテーブルといった使われ方だった。

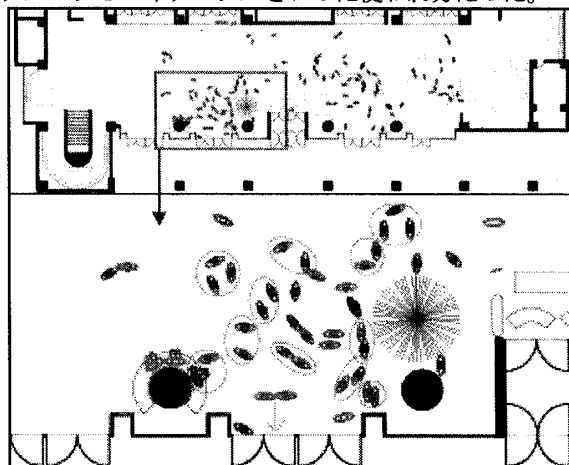


図 1 公演後のホワイエの利用状況 (18:20)

調査により得られた行為と行為に関係している物的要素をまとめ、それらの関係性について表3、4に示す。

建築的要素は、姿勢やそれに伴う行為が比較的限定されず、多様な行為が見られる。特に劇場のcommonspaceでは座って過ごす人よりも立って過ごす人の方が多いため、よりかかれる、立ちやすいなどの特徴をもつ建築的要素は他の施設より鑑賞者の拠り所となりやすい。

一方、家具などの付属的要素は、姿勢や行為が限定されやすい。例えば掲示板など、付属的要素の中には行為を誘発するだけでなく制限するものがあり、利用者も限定される。しかし、付属的要素の中でベンチやソファ、ハイテーブルは多くの行為をアフォードしているといえる。家具配置に関して、対象施設では長方形型ベンチが壁沿いやコーナーに一定の間隔で配置される事例が多く、1グループ1ベンチといった使い方から全体として家具が十分に使われていない可能性がある反面、幕間に喫茶スペース周辺のベンチ数は不足している可能性が見てとれた。尼崎市総合文化センターでは、丸柱周りにソシオフーガルな家具配置の空間が計画されており、数人の各グループが同時に利用しやすく多様な行為が見られた。

表3 建築的要素が誘発する姿勢と行為

建築的要素	姿勢	行為
ガラス面	付近に立って	会話
		携帯電話使用
		飲食
壁面	よりかかって	景色を眺める
	近づいて	携帯電話使用
		会話
柱	面を利用して	写真撮影
	よりかかって	アンケート記入
	面を利用して	携帯電話使用
段差	座って	会話
	立って	飲食
		会話
アルコーブ	おさまるように立って	会話
手すり	もたれて	景色を眺める
		待機
		会話
	手、肘について	景色を眺める

表4 付属的要素が誘発する姿勢と行為

付属的要素	姿勢	行為
ベンチ・ソファ	座って	飲食
		携帯電話使用
		パンフレット確認
		待機
		アンケート記入
ハイテーブル	立って	会話
		飲食
		アンケート記入
キャビネット	面を利用して	荷物確認
掲示板	立って	携帯電話使用
ちらしコーナー	立って	アンケート記入
自動販売機	付近に立って	パンフレット採集
灰皿	付近に立って	飲食
	付近に座って	会話
オブジェ	付近に立って	喫煙
		会話

## 5. まとめ

利用実態をふまえたcommonspaceの計画への提案として、以下の4つがあげられる。

### 大きな移動空間と小さな滞在空間の両立



人の移動を感じ開放感の得られる移動重視の吹き抜け空間と、落ち着いた雰囲気、付属的要素の充実した滞在重視の空間の両立

### 滞在内容が異なる空間を多数配置=物的要素の充実



ソファ・ベンチエリアは数人の各グループが利用しやすい配置、多様な行為を誘発するハイテーブルエリアの設置、段差や

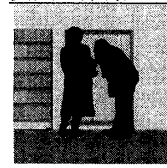
アルコーブ・ガラス面を多く取り入れる、吹き抜け空間を見降ろせる平面を一部突出させ、手すりにもたれての小さな滞在空間をつくるなど

### 出演者との交流の場を提供



出演者のプロフィールやコメントをのせた掲示板の設置、出演者か鑑賞者のどちらかが待ち構えることのできる、ある程度の人数がおさまる建築的要素のみの空間の計画

### 次回の来館につながる仕掛け



掲示板とちらしコーナーを滞在空間と移動空間のどちらにも設置、配布された公演ちらしが必要か不要か目を通す場や鑑賞者の意見交換の場としてちらし回収BOXを滞在空間に設置

commonspaceの充実について考察する際、今後より多くの特徴の異なる劇場に足を運ぶ必要がある。また今回の調査では、各劇場の物的要素の情報と比較が不十分である。家具配置とcommonspaceにおける滞在行動の関係について、今後着目していきたい。

### 参考文献

- 1) Khasawneh Fahed A, 加藤彰一:「ANALYSIS ON CAMPUS PHYSICAL FEATURES AND OUTDOOR COMMON SPACE :A Comparative Study of Place Making and Place Marking Elements」学術講演梗概集 2006 pp.373-374 0607
- 2) 池谷辰仁、今井正次他:「地域複合施設におけるエントランスロビーの特性に関する研究」平成15年度三重大学卒業論文 0303
- 3) 谷脇義隆、加藤彰一:「家具の配置からみる大学commonspaceのプレースメーカーに関する考察:豊橋市・浜松市の大学を事例として」東海支那研究報告書(45) pp.513-516 0702
- 4) 清水裕之:「21世紀の地域劇場 パブリックシアターの理念、空間、組織、運営への提案」鹿島出版社 9707
- 5) 浦部智義、船越徹他:「エントランスから客席までの心理量分析:劇場・ホールのアプローチ・ホワイエ空間に関する研究(その4)」学術講演梗概集 2002(E-1) pp.257-258 0206

\*三重大学大学院工学研究科 博士前期課程

\*\*三重大学大学院工学研究科 教授・工博

\* Graduate Student, Graduate School of Eng., Mie Univ.

\*\* Prof., Graduate School of Engineering, Mie Univ., Dr.Eng.